

キュレーターズ・アイ

岡本直浩展

OKAMOTO Naohiro Curator's Eye

2023.4.25^日 — 6.25^日

主催 = 山梨県立美術館 会場 = ギャラリー・エコー(美術館エントランス) **観覧無料** 開館時間 = 午前9時~午後5時
休館日 = 5月8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、6月5日(月)、12日(月)、19日(月)

やがて自然に還り消えていくもの



《溶暗(ようあん)》2023年作



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

キュレーターズ・アイ

岡本直浩展

OKAMOTO Naohiro Curator's Eye

2022.4.25_{TUE} ————— 6.25_{SUN}

やがて自然に還り消えていくもの

岡本直浩は、東京藝術大学で彫刻を学び、楠をつかった木彫作品を発表している。その造形は、人間と植物とが融合したようなものだ。人間といっても、生い繁る葉に覆われたあまり表情のない顔からは、生身の人間を表そうという意図は感じられない。立体の彫刻でありながら人間味は希薄で、むしろ植物と一体となった何か別の存在が瀰り出されているように見える。近作では、部分的に穴が開いている場合もあり、徐々に割れて崩れ、葉の切れ切れとともに散っていく、その前段階を表現しているようでもある。岡本には、絵画におけるぼかしの技法を彫刻で行いたいという思いがあるという。絵筆と色彩によってグラデーションをつくり出す絵画に対し、木を削り彫る彫刻でぼかしを生み出すのは容易ではないが、木を薄くする、一部に穴を開ける、あるいは複雑な葉の重なりを付けることによって、厚みを変化させ、部分的に透けるような作り込みを行っている。こうした表現の背景には、人間も自然の一部であることを彫刻で表すという意図がある。両者が混じり合ったかたちと透けを感じさせる部分によって、人間と自然の境界の曖昧さ、風に吹かれいづれ消えていくような軽やかさを生み出している。

岡本が木彫に引き込まれたのは幼少期の仏像との出会いからだという。森林資源に恵まれた日本では、平安時代以降木彫仏の比重が仏像制作の中でも大きくなっていったが、人間を超越した仏は、木という素材をとおし、日本の自然と深く結び付いた存在として根づいていった。岡本は近年、江戸時代の僧・木喰の仏像の再現に挑み、その技法、デザイン等さまざまな特徴を学んだ。日本全国を旅しながら、各地の木材で仏像をつかった木喰上人の軌跡を辿ることは、改めて木との向き合い方を考える機会となった。身近な素材である木を用い、自然の中で生きる人間の存在を見つめ直すこと。それは岡本にとって、木彫仏というかたちで連綿と受け継がれてきた日本の自然との関わり方に与することであるとも言えよう。仏が悟りを開いた半眼の顔は、岡本の表情の少ない人間離れした顔に取り入れられている。岡本は、木彫とともに、桃農家の2代目としても日々植物と向き合っている。木と対話しながら、暮らしを立て、木を彫る。その日々の中で自然とともに生きるあり方を模索し続けている。

(太田智子／山梨県立美術館学芸員)

Profile

1984年 山梨県山梨市生まれ
2008年 東京藝術大学 美術学部 彫刻科卒業
2010年 東京藝術大学 大学院 美術研究科 彫刻専攻修了

個展

2012年 ~刻影~(i GalleryDC/石和)
~静影~(三彩洞/甲府)

グループ展

2009年 谷中銀座商店街アートプロジェクト(日暮里)
2010~16年、21年 NOWHERE展
(山梨県立美術館県民ギャラリーA・B)
2010年 蔵Final Exhibition(ワングラス館/勝沼)
2012年 feel清里現代彫刻展(清里フォトアートミュージアム)
2013年 岡本直浩/小林万里子(Shonandai MY Gallery/六本木)
こうふのまちの芸術祭(甲府)
Eradiate-灯心草-展(山梨県立美術館県民ギャラリーC)
2015年 岡本直浩/丸山真未(三彩洞/甲府)
アトリエの末裔あるいは未来
(東京藝術大学大学美術館陳列館)
2017年 山梨の現代美術作家 Vol.1
岡本直浩×針生卓治(i GalleryDC/石和)

その他

2018年 生誕300年木喰展
木喰仏再現プロジェクト(なかとみ現代工芸美術館/身延町)
2020年 続 幻の木喰仏 完成披露展(なかとみ現代工芸美術館)
二十二名の現代作家による、ものけ根付展「勿怪の幸い」
第二集(花影抄/根津)

アクセス

[JR中央本線甲府駅より]

甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・貫川団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
タクシーで約15分。

[中央自動車道甲府昭和インターチェンジより]

料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art



〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27 Tel:055-228-3322 Fax:055-228-3324
https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/